

## 基本目標Ⅲ | 希望と活力に満ちたまち

産業においては、農工商等それぞれの経営強化と共に、農工商等連携の下で、地域資源や観光資源の活用などによる地域ブランドを作ること、地域経済が活性化しており、賑わいのあるまちが形成されています。

また、地域のブランド化により、市外の方々にとって、恵庭市が「来てみたいまち」「住んでみたいまち」となっており、道内/道外問わず、来訪・移住してこられる方が増えています。



## 未来日記 ~2025年の恵庭~



農業をしたくて、32歳で北海道に来ました。恵庭を選んだ理由は、農業に取り組みながらも医療や教育といったライフラインの基盤がしっかりしていること。子どもが生まれたばかりだったので、自然環境が良いところが良かったことはもとより、生活基盤がしっかり整っていたことから、安心して就職できました。それと、ネットで調べていたら、恵庭の若い人が活動的で、いっぱい恵庭の良いところを紹介していたことが決め手になりました。ここだったら、いろんな人と一緒に頑張れるなって。

来てみて、すぐ、「やっぱり良いところだ」って実感しました。新参者なのに、すぐに受け入れてくれて、私みたいに農業を志して恵庭に来る人が年々増えていたみたいで、手取り足

取り教えてくれました。それに、農家の人だけじゃなくて、商店街の人とも関わる機会が多くて、いろんなコラボレーションができるんですよ。

私が来たころは、恵庭の観光スポットといえば、道の駅とかえこりん村とかに集中していたみたいですけど、農家と商店街がコラボして、商品開発したことがきっかけで、商店街に来る人も増えて、結構盛り上がっています。商店街には地産地消のスーパーも立ち上げて、恵庭市民も集まってきています。

東日本大震災以降、地震の少ない北海道に企業が工場を建設することが多くなったらしく、工場で働く若者も結構いますよ。最近はそのような企業との連携も増えていますよ。